

科目名称	生命倫理Ⅰ（現代社会と倫理）	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	15 時間
担当教員	山本 興志隆	授業に関わる 実務経験	☐ 有（ ） ☒ 無	

【1】授業概要

看護の道を志す者は、人間と人間苦に対する理解が不可欠である。看護が直面する倫理的諸問題について、またQOL、生命の尊厳といった生命倫理の根本問題、および最近の医療技術の進歩とともに発生した倫理的諸問題について学び、人間、人間苦に対する理解を深める。

【2】学習目標

1. 人間について考えることができる。
2. QOL、生命の尊厳といった生命倫理の根本問題が理解できる。
3. 最近の医療技術の進歩と共に発生した倫理的諸問題について理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	人間とはなにか(人間の特殊性)	講義
2	病いを考える	講義
3	老いを考える	講義
4	人の死を考える	講義
5	人の死を考える	講義
6	人の誕生を考える	講義
7	人の誕生を考える	講義
8	試験・まとめ	

【5】評価方法

受講態度(学習への取り組み方)、ペーパーテストの結果をもとに総合的に評価する。

【6】教科書

指定なし(講義に必要な資料はその都度配布する)

【7】参考書

小沼 大八著「人間と文化の諸相」創風社刊 1993

【8】受講生へのメッセージ

人間には4つの苦悩があると言われます。生まれること、老いること、病いに罹ること、死ぬことの4つです(生・老・病・死)。この講義で人間、人間苦に対する理解を深め、看護が直面する倫理問題について考えましょう。